

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 11 月 1 日

事業所名 コペルプラス 幕張 教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			
	②	職員の配置数は適切である	5			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		視覚からの情報が入りやすいお子様がいるため壁の飾りを最小限にし集中できる環境を設定しています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		毎日清掃を行っています。 危険な場所にはクッションをつけて怪我のないよう対策をとっています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		出勤者で毎日ミーティング行っています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		年に 1 度事業所評価をお願いしています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		評価結果を職員で話し合い改善に繋げています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		第三者評価の実施はしておりません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		事業所内研修や外部の動画研修に参加しています。	外部研修は日程が合わず参加できていないことが多いが今後は参加してきたいと思います。
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		アセスメントの様子を職員間で共有し反映させています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	コペルのアセスメントを使用しています。	

の 提 供	(12)	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			

関 係 機 関	(13)	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		毎回療育の前に個別支援計画の確認を行っています。	
	(14)	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		固定のプログラムに加えお子様の特性に合った個別課題を共有し対応を統一しております。	
	(15)	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			
	(16)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5		個別、集団それぞれの課題を話し合い支援計画に反映させています。	
	(17)	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		朝と午後のミーティングで 1 日の流れ、伝達事項を確認しています。	
	(18)	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		終了後のミーティングは時間的に難しいため翌日に振り返りを行っています。必要事項は個人ファイルに記載し共有しています。	
	(19)	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		毎回療育後に記録をしています。	
	(20)	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		お子様の現在の様子、今後の課題を検討しています。	
	(21)	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		2		担当者会議への参加はまだないですが今後開催がありましたら意見を取りまとめ児発管が参加します。

や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	(22) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や 関係機関と連携した支援を行っている	4			
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害 のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等 の関係機関と連携した支援を行っている	5		利用がありません。	
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害 のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制 を整えている	5		利用がありません。	
	(25) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚 園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支 援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		保護者様からのご依 頼に基づき情報の共 有を行っています。	
	(26) 移行支援として、小学校や特別支援学校（小 学部）との間で、支援内容等の情報共有と相 互理解を図っている	5		就学前に保護者様と 面談し必要事項を確 認、書面にして提供 しています。	
	(27) 他の児童発達支援センターや児童発達支援事 業所、発達障害者支援センター等の専門機関 と連携し、助言や研修を受けている	5			
	(28) 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、 障害のない子どもと活動する機会がある		5		

保 護 者 へ の 説 明 責	(29) (自立支援) 协議会子ども部会や地域の子ど も・子育て会議等へ積極的に参加している		5		
	(30) 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ど もの発達の状況や課題について共通理解を持っ ている	5		療育後のフィードバッ クでご家庭の様子や 気になることなどを確 認しています。	
	(31) 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレ ーニング等）の支援を行っている		5		今後開催する予定です。
保 護 者 へ の 説 明 責	(32) 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明 を行っている	4		契約の際にご説明し ています。	
	(33) 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の 提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これ に基づき作成された「児童発達支援計画」を示 しながら支援内容の説明を行い、保護者から児 童発達支援計画の同意を得ている	4			

任 等	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている ④		5		フィードバックでお答えできることはお伝えしていますが検討が必要な場合は職員間で検討し後日お伝えします。療育中にもお声をかけ相談に応じています。	
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している ⑤		5			
	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している ⑥	4			迅速に対応しています。	
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している ⑦	5			4か月に1度コペルプラスだよりを発行しています。	
	個人情報の取扱いに十分注意している ⑧	5			個人情報は鍵付き書庫に保管しています。	
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている ⑨	5			視覚情報や具体的に分かりやすい説明を行っています。	
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている ⑩		4			
	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している ⑪	4			対策変更時にはLINEや掲示でお知らせしています。	
非 常 時 等 の 対 応	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている ⑫	4			年2回避難訓練を行っています。職員のみで1回、保護者様参加で年1回となっております。	
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している ⑬	4	1		契約の際に記載していただいております。	予防接種は確認しておりません。
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている ⑭	3	2		食事提供がないため指示書に基づいた対応はできておりませんが保護者様から伺つ	

				た内容で対応しています。小麦アレルギーの際には粘土の使用を行わないなどの対策をとっています。
④⁵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		毎月コペル他教室の事例を確認し教室で起こりえる事例を発表し対応策と注意喚起を行っています。
④⁶	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		研修を行い対応策を話し合います。
④⁷	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		契約時にご説明し別紙署名をいただいております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。